

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



ブルキナファソの女性たちは、とっても元気！

2011 年を迎えて

ここ数年、年越しはブルキナファソで迎えています。現地では、12 月から 2 月は「セゾン・イベルナージュ（寒い季節）」と呼ばれることがあります。45 度を超えるような乾季から比べれば、30 度くらいの日中気温は物足りませんし、夜間は毛布なしでは震えるほど冷え込みます。もちろん日本の冷え込みとは比べものになりません。現に 1 月中旬に帰国した際には、まるで冷蔵庫の中に入ったかのような錯覚を覚えるほど寒く感じました。このような時期には、ともすると暖かさを求めて閉じこもりがちになってしまいます。

暦の上では立春を過ぎましたが、まだまだ春らしい気配を感じることはできません。それでもふと気がつくと、近所の庭にある木々の芽は、少しずつ大きくなっています。目立たないところで、既に活動に向けた準備が始まっているのです。外は寒いですが、思い切って外に出てみると、思っていたほど寒くないものです。また、動いているうちに体が温もり、次第に寒さが気にならなくもなります。これは、団体にとっても同じなのだと思います。

「緑のサヘル」の設立から丸 20 年が過ぎようとしています。山あり谷ありの年月でしたが、ここまで続けてこられたのは、ひとえに、ご支援頂いている皆様のおかげと感謝しています。これまでに培われた経験は貴重なものです。しかし、それらにただ捉われるのではなく、より積極的に広がりのある取り組みをしていきたいと考えています。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

緑のサヘル 代表理事 岡本敏樹



ワガドゥグ市内の小学校における衛生改善プロジェクト

昨年 10 月、日比谷公園で行なわれた「グローバル・フェスタ」の際に、走ることを通して国際貢献を行なうことを目的にした「チャリティー・ラン」が催されました。この取り組みは、参加料の中から必要経費を除いた全額が、海外で活動する団体に寄付されるものです。「緑のサヘル」もご寄付をいただき、現在ブルキナファソの首都ワガドゥグのブルミウグ学区の小学校に対する給水タンクの設置を進めています。

ブルキナファソでは、運営資金の不足から、学校内に水源を持っていない小学校がたくさんあります。生徒たちは、毎日、自宅からペットボトルなどに水を入れて持参しています。主に飲み水として使いますが、量が少ない上にトイレ使用後の手洗いにも使われるので、衛生上の問題もあります。教師たちも問題意識を持っており、改善を望んでいますが、その実現は困難です。「緑のサヘル」は、こうした状況の改善を目指し、小学校の各教室に水をためるためのタンク（容量 40 リットル）を設置することにしました。

現地の教育委員会と話し合った結果、今回は 16 校に給水タンクを設置することになりました。小学校は 6 つの教室と校長室を備えていることから、1 小学校あたり 7 個の給水タンクを設置することにし、計 115 個が必要となりました。

10 月中旬からコンクリート製の給水タンクの作製を開始し、12 月の第 1 週には各校への配布を始めました。また、1 月にはバケツやタワシ、石鹸などの備品も配りました。現在のところ、給水タンクは全ての小学校で使用されています。



給水タンクの水で手を洗う生徒。

バム湖周辺地域環境保全プロジェクト(湖岸植林)

2010 年の雨季は雨量が多く、また 11 月になっても降雨がある等、雨季が長引きました。その影響でバム湖が例年以上に氾濫し、植林サイトからも湖水がなかなか引きませんでした。このため、12 月になってやっと植栽を始めることができました。

活動対象の 4 村のうち、コラ村では、これまでの植林サイトとはやや離れたところに新たにサイトが設けられ、ユーカリが植えられました。コンディビト村では、さらに湖岸に近い場所へユーカリが植えられました。バイエン・フルゴ村とパディノゴ村では、7 月に植えられた苗木が順調に成長しています。



コンディビト村の住民が 2 年前に植えた苗木が、ここまで大きくなりました。



JICA 草の根技術協力事業

対象村であるロルガ村とタンギエマ村では、穀物の栽培地に石を並べるディグットの作業が進んでいます。ディグットを作る最適な時期は 12 月から 2 月ですが、もっとも大変な石運びを 12 月に行ない、ロルガ村では 1 月から石を並べる作業が始められています。

2010 年の雨季は、雨に恵まれました。穴に堆肥を入れて収穫量上げるザイを施した栽培地ではとりわけ穀物の成長がよく、収穫量も大幅に増えました。しかし、堆肥の量が充分ではなかったことから、堆肥を作る穴を増やすことになりました。現在、両村で穴掘りと素材集めが進められています。また養蜂活動も順調で、両村に設置した蜂箱は計 25 箱となっています。

現地では羊のような小型家畜は女性が管理することになっているので、家畜肥育は女性にとって人気

のある活動です。7 月に子羊を購入したタンギエマ村では、雨で崩れた土塀のために 1 頭が足にケガをしてしまいましたが、順調に大きくなっています。12 月からロルガ村でも開始し、15 名の女性が 2 頭ずつ、子羊を購入しました。いずれも、子羊は 1 年間肥育された後に販売される予定になっています。



ロルガ村の女性と肥育している羊

タンザニア担当
スタッフ鈴木の

ブルキナファソ 調査渡航記



ヤルカ村での聞き取り調査の様子



(左から) 鈴木、AJPEE アデルさん、AJPEE サワドゴ代表、岡本代表

私は 2008 年に「緑のサヘル」に参加して以来、国内事業とタンザニア事業の担当をしていますが、年明け早々の 1 月、JICA 人材育成研修の一環として、初めてブルキナファソに渡航することになりました。バム県コングシ地域において、女性たちの暮らしについて実態調査を行なうことが目的です。

聞き取り調査を行なったのは、バム湖周辺の 4 村。調査には、現地協力団体 AJPEE（環境畜産保全青年協会）より女性普及員のアデルさんに同行してもらい、文化や考え方の違いに配慮をしながら現地語（モレ語）と仏語の通訳をしていただきました。実際に村を訪ねて印象的だったのは、女性たちのみなぎる活力と向上意欲。彼女たちは、膨大な労力と時間のかかる家事作業の傍らで、よりよい暮らしを目指し、女性組合の活動に精力的に参加していることが分かりました。

今回の渡航は、実は私にとって初めての西アフリカであると同時に、初の仏語圏上陸でした。東アフリカとは違った文化や食事、気風に触れ、知れば知るほど奥が深いアフリカを実感しました。

タンザニアから



難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業

本事業は、(財)国際緑化推進センターとの協力事業として2007年4月に始まり、4年間の活動期間を経て、2011年3月末に終了する予定となっています。事業終了を目前に控え、現地協力団体である REDESO（社会開発支援）からは、本事業での活動を将来に繋げていくために様々な活動が活発になっていると、嬉しい報告が来ています。

本事業の対象村となっているムグンズ村（キゴマ州キボンド県）には、活動当初よりルガンド植林区が設置され、地域住民による耕地内植林が毎年行なわれていますが、2010年は、雨季が始まった11月に4樹種9,375本の苗木が植林されました。

この植林区は、現在 REDESO が、県の天然資源局と協力し作成中の管理計画を基に、事業終了後も村と村の環境委員会によって保全林として管理され、間伐などで枝打ちした枝は炊事用に、そして、苗木が大きく成長した後は、小学校建設のための建材などとして村の人々の暮らしを支えていくことになるでしょう。2月下旬には、本事業最後となる現地出張が行なわれますが、その際に、管理計画の詳細や事業終了後のフォローアップなどについて話し合われる予定です。



ルガンド植林区で2007年に植栽されたアクロカルパス

また、本事業から得られた教訓は、来年度から新たに実施される「貧困削減のための森造り事業」として、タンザニアの他地域における緑化活動に活用される予定となっています。

チャドから



選挙が延期になりました

2010年、チャドは国政選挙と地方選挙の時期を迎えていました。当初の予定では、11月末に国政選挙、12月に地方選挙を行ない、2011年4月に大統領選挙が行なわれることになっていました。しかし、選挙管理委員会の人手不足により、投票者名簿の作成や立候補者登録が遅れてしまい、予定通りの実施が困難になってしまいました。このため、国政選挙は2月20日、地方選挙は3月27日、大統領選挙の第1回投票は5月8日に延期となりました。

現在、準備が進められている一方で、チャドにおける主要な野党勢力であるCPDC（憲法を守るための野党連盟）は、イドリス・デビ大統領が選挙を意図的に遅らせているとし、選挙への参加を拒否するとの声明を出しました。また、選挙管理委員会が与党寄りであるとして、委員長が更迭されました。

昨年末より、フランス語圏西アフリカ諸国とその近隣において、政治的な不安定化が進んでいます。このような中で、なによりも懸念されるのは生活をしている住民へのしわ寄せです。どのような政権・政府が誕生しようとも、住民への配慮を願ってやみません。

国内活動



今期は、毎年恒例となっている岩手県での学校講演を行なったほか、一般の方々を対象とした「緑のサヘル岩手報告会 2010」を開催しました（主催：緑のサヘル盛岡支局）。また、毎年東京ビッグサイトで開催されている「エコプロダクツ展」に初めて出展し、多くの皆さんにお話を聞いていただくことができました。

＜ 東京事務局での主な活動一覧 ＞

2010 年				
11 月	2 日(火)	岩手県盛岡市立 城西中学校	(2 年生 134 名)	講演 (菅川)
	5 日(金)	岩手県盛岡市立 北松園中学校	(1 年生 76 名)	講演 (菅川)
	6 日(土)	緑のサヘル岩手報告会 2010	(一般参加)	講演 (菅川)
	9 日(火)	チャリティ☆ナイト 「動く・つながる・まねる・生まれる ～タンザニアのみやげ物画家たち～」		共催
		岩手県滝沢存立 滝沢東小学校	(5 年生 49 名)	講演 (菅川)
10 日(水)		岩手県宮古市立 宮古第一中学校	(1 年生 119 名)	講演 (菅川)
		岩手県宮古市立 宮古第一中学校	(2 年生 107 名)	講演 (菅川)
11 日(木)		岩手県宮古市立 宮古第一中学校	(3 年生 110 名)	講演 (菅川)
12 日(金)		岩手県盛岡市立 桜城小学校	(5 年生 57 名)	講演 (菅川)
		岩手県盛岡市立 桜城小学校	(6 年生 70 名)	講演 (菅川)
15 日(月)		岩手県盛岡市立 薮川中学校	(1～3 年生 8 名)	講演 (菅川)
17 日(水)		岩手県葛巻町立 葛巻小学校	(3～6 年生 105 名)	講演 (菅川)
18 日(木)		岩手県一関市立 花泉中学校	(3 年生 125 名)	講演 (菅川)
12 月	9 日(木)	エコプロダクツ 2010 (東京ビッグサイト：～11 日)		出展
	14 日(火)	チャリティ☆ナイト 「南アフリカのゴスペル ～自由への歌～」		共催
2011 年				
1 月	11 日(火)	チャリティ☆ナイト 「みんなで“イモ”つき ～西アフリカの食文化について～」		共催

エコプロダクツ展2010に参加しました！



ブースには、環境に高い関心を持った方々が大量訪れました。

去る 12 月 9 日から 11 日までの3日間、東京ビッグサイトに於て「第 12 回エコプロダクツ展 2011」が開催され、「緑のサヘル」は「NPO・NGO コーナー」にブースを出展しました。この展示会は、(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社が主催するもので、最先端のエコ商品や環境技術、CSR (企業の社会的責任) 活動などを紹介するために、温暖化防止や生物多様性保全に取り組む企業やNPO、教育機関が一同に集まりました。

イベント期間中には、18 万人以上の方々が来場されましたが、特に環境学習の一貫として来場した小中学生も多く見られました。NPO コーナーには、国内で森林管理や環境保全に取り組んでいる団体も多い中、「緑のサヘル」のブースを訪れた方々は、日本が抱える環境問題とは違ったアフリカの逼迫した状況に大きな関心を示していました。



5/22、チャリティ・コンサート開催！

毎回ご好評いただいているチャリティ・コンサートですが、すっかり恒例のイベントとして定着し、毎年楽しみに待たれている方も多いようです。そのチャリティ・コンサートが、今年も5月22日(日)に開催されることになりました。

今年公演して下さるのは、ソプラノ歌手の幸田浩子さんとピアニストの仲道郁代さん。幸田さんは、透明感あれる美声と豊かな表現力、華やかな舞台姿で、現在最も注目を集めているソプラノ歌手です。仲道さんは、温かい抒情と卓越したテクニックで、日本はもとより海外からの評価も高く、世界の一流指揮者や演奏家と次々に共演している実力派です。

このコンサートの収益の一部は「緑のサヘル」に寄付され、現地での活動を支える大きな力となります。素敵なひと時を過ごしながらの国際協力、皆さんふるってご参加下さい。

日時：2011年5月22日(日)

場所：大阪府池田市民文化会館アゼリアホール

料金：前売券 3,500円 当日券 4,000円(全席自由席)

主催：アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会
(財)いけだ市民文化振興財団、中西クリニック

後援：池田市、池田市教育委員会、池田市公益活動促進協議会

- お問い合わせは、池田市民文化会館 (Tel: 072-761-8811)、アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会 (Tel: 072-761-0508)、中西クリニック (Tel: 072-762-7275) まで。

新インターンのご紹介

東京事務局に、今年も頼もしいインターンが参加してくれました！大学生の吉川千尋さんです。これから6月までの週4日、イベント運営を中心とした様々な作業の場で活躍が期待されます。

(吉川さんからのメッセージ)



1月より半年間、インターンをさせていただくことになりました。国際協力・環境に興味があり、「NGOの実際の活動を見てみたい！アフリカに関わってもっと色々なことを知りたい！」という想いで、インターンをするために関西からやって来ました。

緑のサヘルの活動、そしてアフリカに対して少しでも貢献できるように、自分を成長させながら、楽しみながら頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 新規会員のみなさま 】

川村清子

【 継続会員のみなさま 】

中久保慎一／本多れい子／猪股満希子／金明希／内藤篤／杉本和／今野進・和子／小松義夫・衛子
上野幸子／田辺諄児／小原喜代美／内山照／瀬戸栄一・進一・謙二・泰三・義子／竹内信／加藤和雄
石本雄大／宮田春夫／丸山タミエ／和田隆資／野々山富雄／本所稚佳江／梅田暢子／宮根恭子
手嶋康／佐々木順平／高松千枝子／国岡裕子／後藤琢雄／鈴木幸子／寝屋川市立梅が丘小学校

他 匿名をご希望の方 1 名

【 ご寄付頂きました 】

小林伸張／木嶋清江／加藤正博／馬場慶子／宮本政子／桐山董／手嶋康／西村豊子／佐藤京子／田辺諄児
榎本みつ枝／加納愛子／須藤さい／浪川光代／鈴木潤／大橋邦雄／村上和代／山本明子／丹邦子／小島訓子
玉岡昇治／山根二郎／太田弘子／宮本秀子／小池昌子／水口正之／美野弘子／宮田春夫／高木真味子／石山俊
上垣真木子／杉本敏行／平井一子／浅井賢太郎／越智美代子／山田規矩子／迫田ひとみ／田中陽子／梶野修平
古田努／内記悦子／齋藤政宏・せい子／竹中和子／大久保久美子／佐々木順平／梅田暢子／江刺和広
高松千枝子／橘／古出／菅沼／石村／太田宜子／三浦貞彦／松岡亜湖／壽賀一仁／小笠原弘子／西川英宣
天野洋子／田中晴美／三浦敦／瀬戸義子／山根貞夫／井上進次／富谷晋／赤山美苗／森田和吉／東海林茂子
大段るみ子／花垣正／松浦外美／矢島昌子／谷村泰子／井門衣子／高橋桂子／岩手・木の工房会 里館尚
個別教育フォレスト 安多秀司／品川女子学院 5 年 E 組／援助修道会 管区本部／日本聖公会 大阪教区婦人会
日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／日本聖公会 西宮聖ペテロ教会婦人会／大阪信愛女学院幼稚園

援助修道会 仁川修道院／株式会社ベルモ 福井誠／有限会社オルト 梁好文／岡山大学 生協学生委員会 C.C.C!
他 匿名をご希望の方 9 名

【 ハガキ・切手などを頂きました 】

小川桂／梅田暢子

上記は 2010 年 11 月 1 日から 2011 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2011 年 2 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみを掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

【 協力団体・助成団体 】

(財)毎日新聞東京社会事業団／サヘル緑化ファンド(管理団体：(財)大阪国際交流センター)
(独)国際協力機構(JICA)／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)／(株)サティスファクトリー
アクトシステム(株)／(株)ユビキタスエナジー／(株)ネプロアイティ／(財)国際緑化推進センター
(財)農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校／アフロ・フレンチレストラン 神楽坂ドライブス
(特活)国際協力 NGO センター／(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
(財)地球・人間環境フォーラム／(社)国際農林業協働協会／国際連合食糧農業機関(FAO)
緑の募金(管理団体：(社)国土緑化推進機構)／igreen(管理団体：seap)

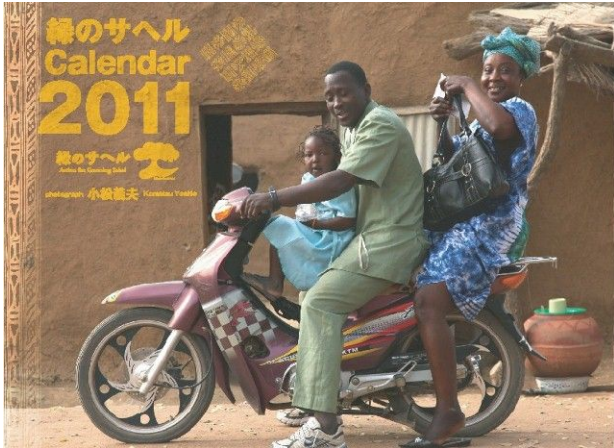
画像を提供しました

株式会社 童夢
テーマ別学習資料図鑑
「ポプラディア情報館」シリーズ
第 1 巻「環境」

株式会社 ベネッセコーポレーション
2011 年度進研ゼミ
授業チャレンジ 理科総合 B
巻頭特集

おしらせ

緑のサヘル 2011年オリジナルカレンダー 残りわずか!



2011 年オリジナルカレンダーはおかげさまで大好評となりました! ご購入いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

また、在庫がわずかに残っております。まだご購入されていない方、カレンダーが不足している方、この機会に是非お買い求めください。

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 |
| 2・・・ブルキナファソから1 | 6・・・事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから2 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・タンザニア・チャドから | 8・・・お知らせ |

< スタッフのひと言 >

●現在、奥さんがアフリカの国へ調査に出かけています。雪の降る日本と日差しの強いアフリカ、遠さを実感しています。(岡本) ●数年ぶりに実家の雪下ろしをしました。全国の皆さまに「大雪見舞い」を申し上げます。(菅川) ●東京ドームにプロレス観戦に行き、2011 年分の元気をもらいました。(町) ●家族がインフルエンザになったのを契機に予防接種を受けました。(鈴木) ●まだまだハルマッタン吹き荒れるブルキナファソです。(木藤) ●ただいまフランス語勉強中です!(吉川)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの 10 セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の 20% が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部 北東北	関西	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420	
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020	
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420	
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550	
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550	
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620	
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850	
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200	
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350	

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol. 45

編集 菅川拓也 岡本敏樹 町慶彦 鈴木香織 小川桂 吉川千尋/印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 田澤ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041